

## 屋外広告物の検討

「屋外広告物」についても「建築物」と同様に、これまでの取組を踏まえたキーワードとイメージ写真を見ながら、屋外広告物の方向性とまちなみの要素について検討しました。

### 屋外広告物の方向性（案）

建築物と一体となってまちなみとの調和が図れるよう、景観に配慮したまちなみを創出します。

## 看板

- ・屋外広告物は、まちのにぎわいや活気を表現する景観をつくる重要なまちなみの要素である。
- ・重要な宣伝媒体となる一方、屋外広告物が無秩序に設置されるとまちの美観や風致を損なう恐れもある。

### キーワード

- ・素材、形状、意匠、色彩、位置等の統一感の創出



木板に筆で書かれた店舗名



企業の色を変更

## 自動販売機

- ・自動販売機は商品の認知し易さのための原色の使用や大きさから、まちなみの中でも目立ちやすく、まちなみ景観を阻害する要因となり得る。
- ・道路の前面に設置されることが多いために、門・塀・生垣や道路と一体的な空間を生み出す性質を持ち合わせている。

### キーワード

- ・設置場所に留意
- ・周辺と調和した色彩



木目調の自販機



屋根の設置

### 協議会からの意見

- 看板はお店の特徴を出せる唯一の方法なので、統一化は難しいと思う。
- 自治会や市の掲示板等も、まちなみルールに基づく取組をする必要があると思う。

## 交通対策についての説明

裏小路におけるまちづくりの検討すべき項目である交通対策について、市と意見交換をしました。交通対策を検討するに当たり、交通規制の例示として、車両通行止めや一方通行を取り上げ、各規制の目的等について市より説明がありました。

### 車両通行止め

車両等の通行を禁止することにより、車両の通行による交通の危険を防止し、安全かつ快適な生活環境を保持する。

### 一方通行

車両を一方からの通行とすることで、車両のすれ違いがなくなることや歩行者空間が確保できることにより、交通の安全を図る。

## 今後のスケジュールについて

第6回 1月13日 ○まちなみルール素案の検討

第7回 3月上旬 ○まちなみルール素案のまとめ  
○今後の取組について

### 次回の開催

第6回裏小路まちなみづくり協議会を次のとおり開催します。

- ・開催日時：1月13日（金）18時00分～
- ・開催場所：旧岩槻区役所第2別館 第1会議室

VRを活用しながら、まちなみルール（素案）の取りまとめに向けて、引き続き検討します。

### まちなみづくりに関心のある方へ

・事前の申込みは不要（自由参加）なので、傍聴される方は当日、お気軽に会場までお越しください！

会員は随時募集しております！  
皆様のご入会をお待ちしております！

協議会会員数 26名  
(H28.11.26 現在)



さいたま市ホームページに協議会の開催情報や協議会への入会申込書を掲載しています！

さいたま市のトップページ (<http://www.city.saitama.jp/index.html>) から

裏小路  検索

発行：裏小路まちなみづくり協議会

第14号

問合せ先：さいたま市 都市局 まちづくり推進部 まちづくり総務課  
TEL：048-829-1445 FAX：048-829-1976

発行月：平成28年12月

## 第5回 裏小路まちなみづくり協議会を11月26日に開催しました

本ニュースは、裏小路のまちなみづくりの活動を広くお知らせするもので、第14号となる今回は11月26日（土）に開催した「第5回 裏小路まちなみづくり協議会」について、御報告します。

### バーチャルリアリティを導入し、まちなみルール作成に向けて検討を開始！！

- 空間のイメージを可視化するバーチャルリアリティ（VR）を活用して、裏小路における現状のまちなみを確認しました。
- 第4回協議会で検討した「工作物・緑化」のまちなみの要素毎のルール（案）と今回、新たに「建築物」と「屋外広告物」のまちなみの要素について検討しました。



## 第5回協議会で話し合ったこと

### VRによる裏小路の現状のまちなみ

～まちづくり専門家から見た裏小路のまちなみ～

- ブロック塀、トタン塀、フェンス、板塀、築地塀等の様々な種類の塀を有している。
- 看板がいくつか点在しており、それは個々に設置している。
- 建物の高さは、各戸異なっているが、色彩は全体的に落ち着いた色合いが多いように感じる。
- 敷地には、植栽されており、みどりが多く感じられる。



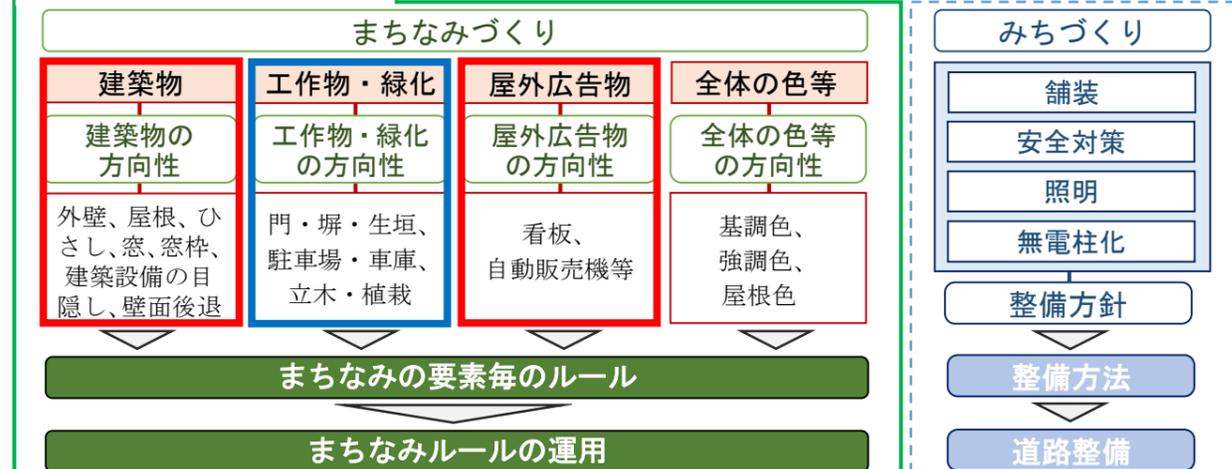
VRにて再現された裏小路

今後VRを活用し、裏小路の現状のまちなみとまちなみルール（素案）を比較しながら、検討します。

### まちなみルールの具体的な項目

第4回協議会で「工作物・緑化」を、第5回協議会では、「建築物」と「屋外広告物」の方向性とまちなみの要素を検討しました。

#### まちなみルールの枠組み



# 第5回協議会の内容

## 工作物・緑化の検討

「工作物・緑化」の方向性とまちなみの要素毎のルール(案)について、VRを活用しながら検討しました。

### 工作物・緑化の方向性(案)

まちなみに連続性を持たせることで歴史が感じられる裏小路らしさを創出するとともに、既存の緑を維持・保全することでまちなみに潤いをもたらせます。

### まちなみの要素毎のルール(案)

#### 門・塀・生垣

裏小路に面して設置する門・塀・生垣は、まちなみの連続性を持たせるよう形態意匠に配慮する。また、塀は裏小路の歴史を醸し出す板塀や築地塀が望ましい。

#### 駐車場・車庫

「車庫」の入り口に関しては、ルールを定めない。  
※ただし、駐車場の出入口以外の部分については「門・塀・生垣」のルールを適用する。

#### 立木・植栽

立木・植栽は、良好な維持・保全を行い、あわせて周辺への安全確保に努める。

### まちづくり専門家からの提案

- 各戸の前面に位置する門や塀は、地域の雰囲気や個性を効果的に醸し出すまちなみの要素である。駐車場に関して、出入口以外の部分は門・塀・生垣に準じることでまちなみの連続性を確保できる。
- 立木・植栽は、既に多く設けられており、維持管理を継続することが必要である。

### VRを活用した検討

塀の高さや材質によるまちなみの変化を裏小路の現況のまちなみと比較しながら検討しました。



裏小路のまちなみ(現況)

#### 塀の高さの検討



塀の高さ(1.8m)



塀の高さ(1.2m)

#### まちづくり専門家からの提案

- 塀の高さを揃えるだけでも、まちなみに統一感が生まれる。
- 一般的な目線の高さといわれている1.2mが防犯的に好ましい。

#### 塀の材質の検討



生垣



竹垣



築地塀

#### まちづくり専門家からの提案

- 自然素材を基調として、下部をブロック塀にすることで安定した土台になり安全性が向上する。
- 塀の材質を変えることにより、武家屋敷であった裏小路の昔のまちなみを彷彿とさせることもできる。

#### 協議会からの意見

- 塀の高さを1.2mとすることは難しく、住宅街であるため家の中を見られたくない人もいると思う。
- 塀の高さを1.8mより1.2mにした方が開放感もあって良いと思う。
- 塀の材質は竹垣で、四つ目垣が良いと思う。

## 建築物の検討

「建築物」について、これまでの取組を踏まえたキーワードとイメージ写真を見ながら、建築物の方向性とまちなみの要素を検討しました。

### 建築物の方向性(案)

建築物の意匠形態や色彩などを配慮することにより、裏小路のまちなみの統一感が図られ、落ち着いた雰囲気を醸し出す、裏小路らしいまちなみを創出します。

#### 外壁

・外壁の工夫により、まちなみの統一感の向上や建築物の圧迫感の緩和に繋がる。

#### キーワード

- まちなみとの調和
- 原色の使用を避ける
- 無彩色(白・灰・黒)や茶系の落ち着いた色彩



茶系の色彩を用いた街並み



無彩色を用いた住宅街

#### 協議会からの意見

- 新たに建築する建物については、原色の使用は控えた方が良いと思う。

#### ひさし

・裏小路に面しているひさしの高さや素材が揃うことにより、まちなみの統一感の演出に寄与する要素である。

#### キーワード

- まちなみの連続性、統一感
- 瓦を用いる



住宅の屋根と同素材



両隣と連続したひさし

#### 協議会からの意見

- 住宅街であり、和風や洋風等の建物があることから、ひさしを統一することは、難しいと思う。

#### 建築設備の目隠し

・屋上及び壁面に付帯する設備類は、直接目にふれると無機質な印象を与えるが、目隠しを行うことで裏小路らしい風景をつくる景観的配慮を行うことができる。

#### キーワード

- まちなみとの調和
- 落ち着いた色彩
- 木材などの素材
- 縦格子



場所と目隠しの設けに留意



茶系で周囲と調和する色彩

#### 協議会からの意見

- 沿道から見える場所に建築設備を設置する場合は、対応を検討してもらうことがよいと思う。

#### 屋根

・屋根形状(軒高や勾配)・仕上げ素材などにより、まとまりのある歴史的なまちなみ景観の演出を行うことができる。

#### キーワード

- まちなみとの調和
- 瓦屋根
- 勾配屋根



越屋根



切妻屋根

#### 協議会からの意見

- 屋根について、住宅街では、特に気になるものではないと思う。

#### 窓・窓枠

・窓枠などの建具の意匠は、地域の個性である歴史的なまちなみを感じさせる要素である。

#### キーワード

- まちなみとの調和
- 落ち着いた色彩
- 木材などの素材
- 縦格子



木製の窓枠で前面を覆う



縦格子の窓枠

#### 協議会からの意見

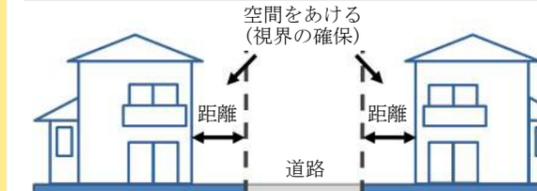
- 住宅街の建物は、窓枠を変更しても視界にあまり入ってこないと思う。

#### 壁面後退

・壁面後退の位置が揃うことにより、通りとしての連続性をつくり統一感のあるまちなみの印象を与える。  
・見通しの確保や圧迫感の軽減に寄与する。

#### キーワード

- まちなみの連続と視界の確保



#### 協議会からの意見

- 壁面後退は、空が広く見えて良いと思う。
- 一方、空間が狭くないのも裏小路らしさだと思う。